都市再生整備計画　フォローアップ報告書

上之地区

平成24年8月

埼玉県熊谷市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住者数	人	1,200	1,400	1,305	確定 見込み ●	△	あり なし ●	1,245	H23年10月1日	△	算出基礎である空家率が高率で推移したこと、世帯平均人員が減少したことが数値を押し下げた。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	従前値よりは増加しており、今後、土地区画整理事業のさらなる進捗により堅調な人口増加が見込まれる。
指標2	一人当たり公園面積	㎡／人	0	4.3	0.8	確定 見込み ●	△	あり なし ●	0.9	H23年10月1日	△		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	従前値よりは改善しているものの、上之第2号公園の整備には至らず、目標の達成はできなかった。
指標3	まちづくりイベント参加者数	人	0	400	80	確定 見込み ●	△	あり ● なし	93人	H24年3月31日	△		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	安心安全への関心の高まりから参加人数が増加した。これらイベントを通して地域コミュニティの増進が図られた。
指標4	埋蔵文化財発掘体験事業参加者数	人	0	700	1,125	確定 ● 見込み	○	あり なし					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地域の小学生を中心に多くの参加者に対して、当該地から出土した遺跡等を紹介することができた。
指標5						確定 見込み		あり なし					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	宅地として利用可能な土地面積割合	%	43..0		48.5	確定 見込み ●			48.5	H23年5月31日			■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	利便性の向上が確実に進んでいるものと判断している。
その他の数値指標2	地域住民のための多目的空間の確保に対する満足度	%	—		71.7	確定 ● 見込み							□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	これまで多目的空間が地域でなかったことから、地域住民から一定の評価が得られている。
その他の数値指標3	建築行為等許可申請件数（年間平均）	件	3.3		7.0	確定 見込み ●			7.4	H23年5月31日			■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	土地区画整理の進捗により、新規の住宅建築着工も見られ、地域の活性化が着実に進んでいる。

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	宅地の緑化の推進	実施に当たり関係官署等との調整を行った。	平成25年度からの実施を目指し、引き続き要綱等の整備を行う。	新築した住居等に対し、苗木を配布する施策を現在調整中。
	照明灯の設置などによる街路の安全性のさらなる向上	実施に当たり関係官署等との調整を行った。	平成25年度からの実施を目指し、引き続き要綱等の整備を行う。	地元自治会とも設置場所について協議を行いながら、適切な場所に街路灯を設置し、地域の安心安全をより確実なものにしていく。
	住民との協働による地域の安心安全と住民交流の活性化	防犯講習会、自転車講習会、防災講習会などを開催。	防犯、防災、交通安全など、関心の高い講習会を開催したことで、地域ぐるみの防犯、防災などを考えるよい機会となった。また、地域の住民の交流の場ともなった。	継続して実施していくことで、地域に自主防災組織を立ち上げる機運の醸成など、波及効果が期待できるため、今後も継続実施とする。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	交通危険個所の改善	パトロール、住民からの通報などにより、危険個所を発見、整備を行った。	県道沿いに仮設の歩行者通路を整備し、交通事故の危険性が低くなった。	危険個所等については引き続きパトロール等を実施し、改善に努めていく。
	多目的に利用できる空間の確保	ベンチ及び街灯を整備しより人の利用しやすい環境を整えた。	近隣の子供や幼児を連れた親子連れなどが散歩の途中に利用するようになった。	

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項